

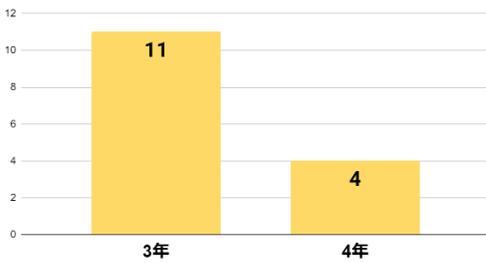
2023年度宮城学院女子大学対話会アンケート集約結果

アンケート集約担当：中谷力雄

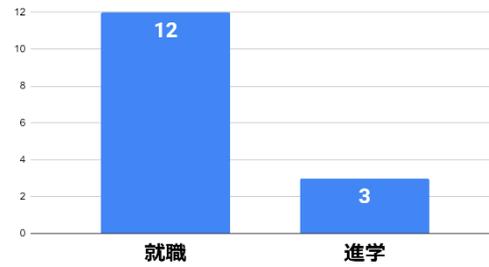
○回答日：2024年02月05日

○回答数：15名（回収率 88%）

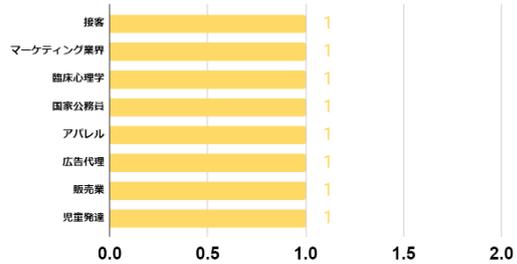
大学・学部



進路



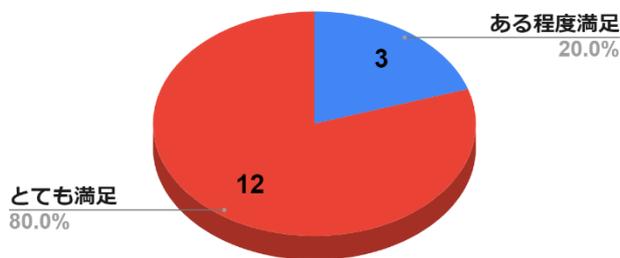
分野・希望先（具体名は任意）



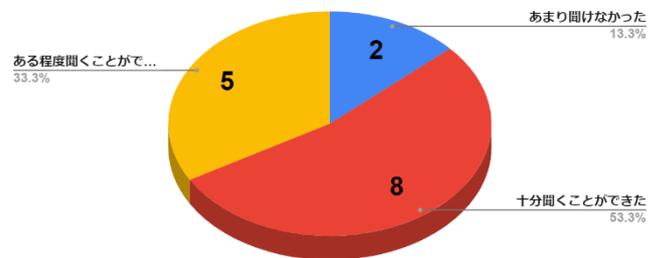
I 対話会に関するアンケート

1. 講演について

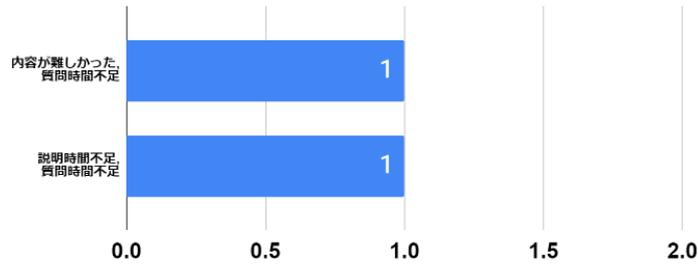
(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？



(2) 事前に聞きたいと思っていたことを聞きましたか？



(2)で
あまり聞けなかった、全く聞けなかったと答えた方、その理由は？（複数回答可）

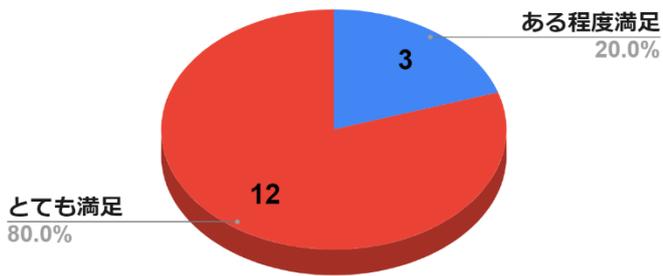


(3) 今回の講演内容以外で聞きたいテーマがありましたら自由に書いてください。

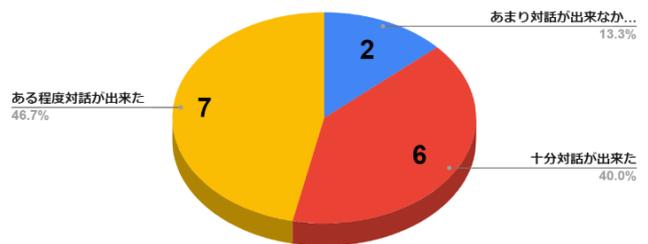
- ・元のお仕事内容について
- ・水力発電とは具体的にどういった発電方法なのか
- ・世界の原子力

2. 対話について

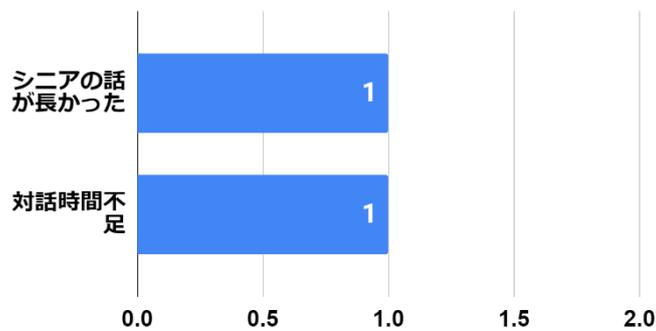
(1)対話の内容は満足いくものでしたか？



(2)事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？



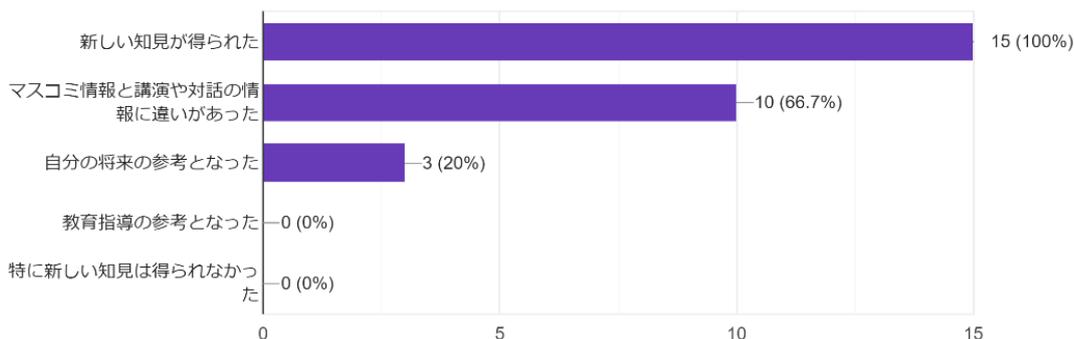
(2)であまり対話出来なかつた、全く対話出来なかつたと答えた方、その理由は？（複数回答可）



3. 今回の講演で得られたことは何ですか？（複数回答可）

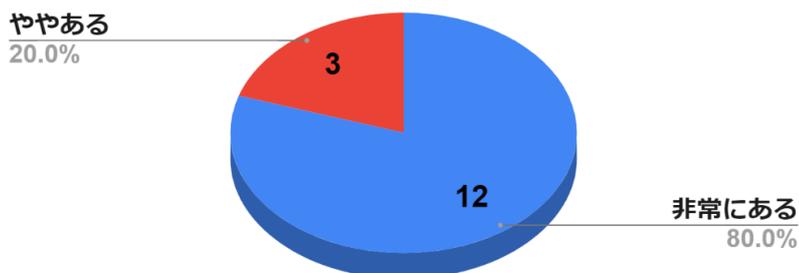
3. 今回の講演や対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

15件の回答



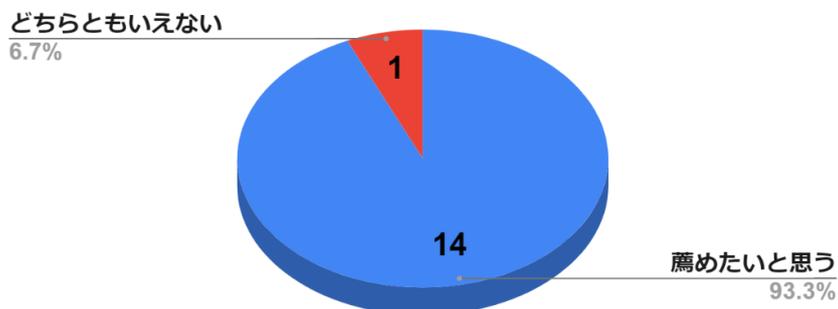
4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



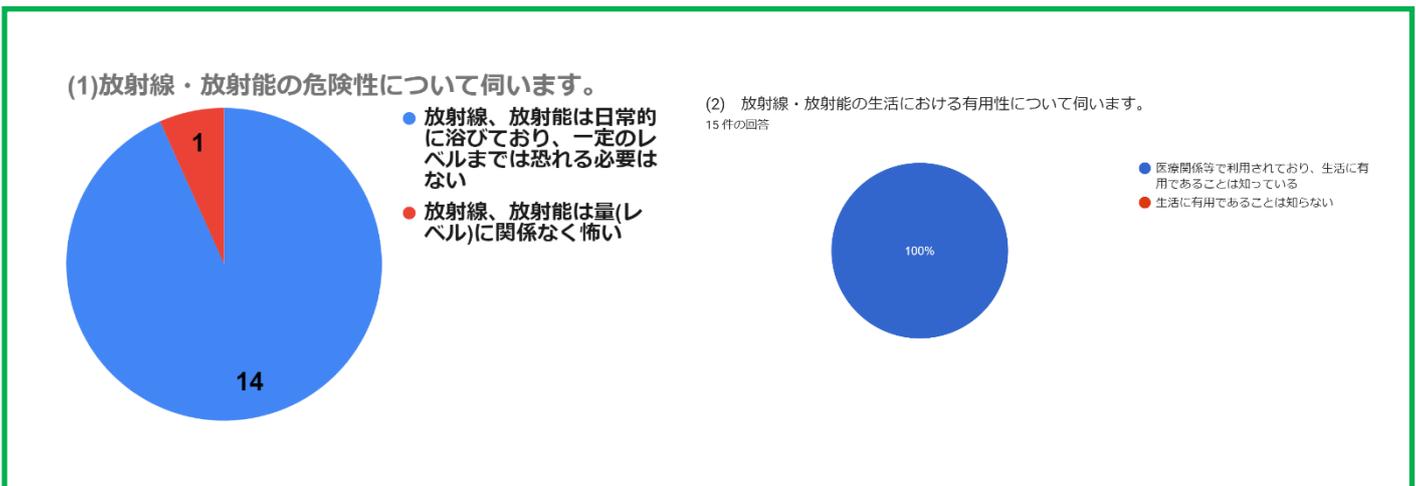
5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

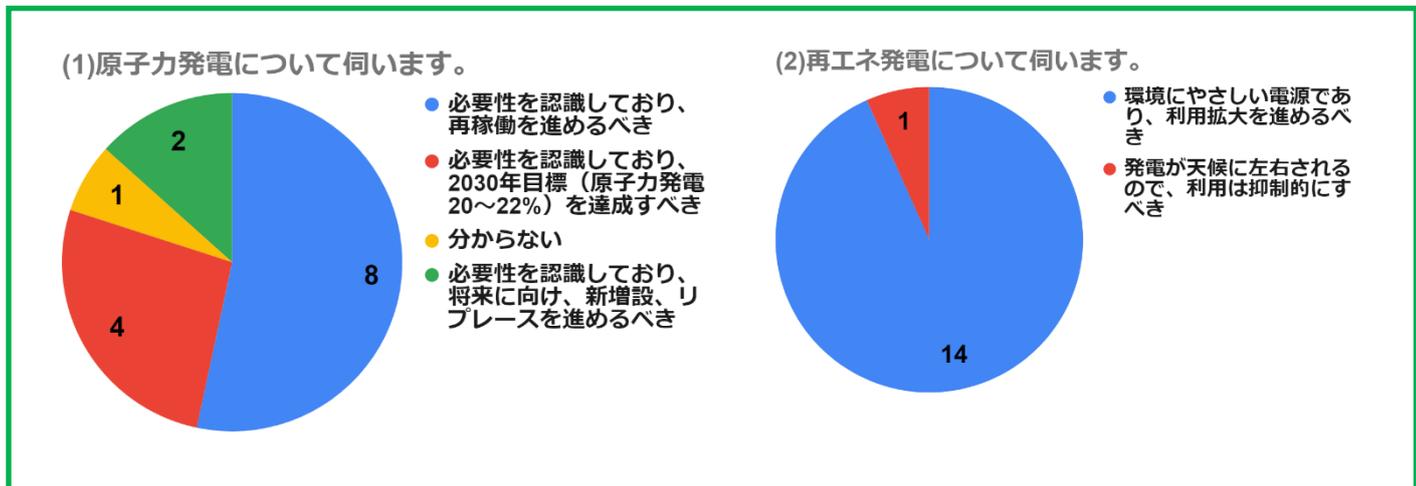


Ⅱ 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

1. 放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

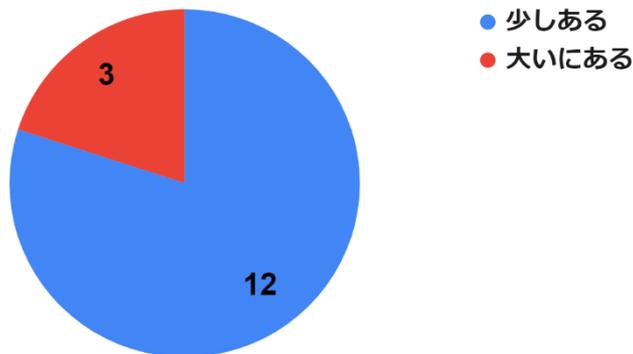


2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。



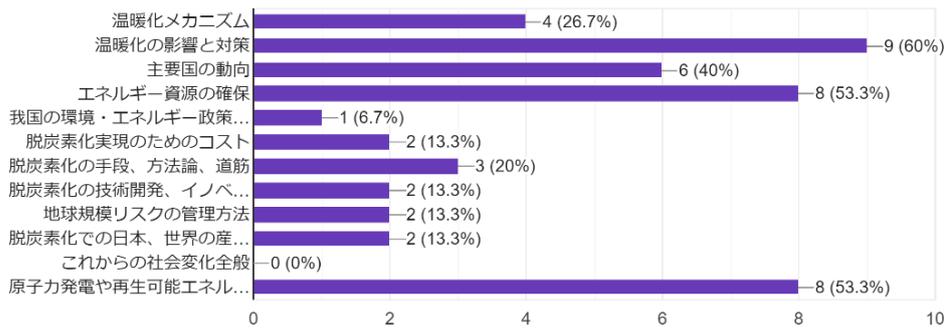
3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

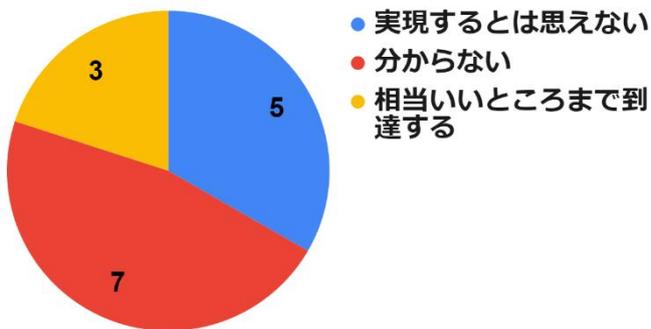


(2)興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

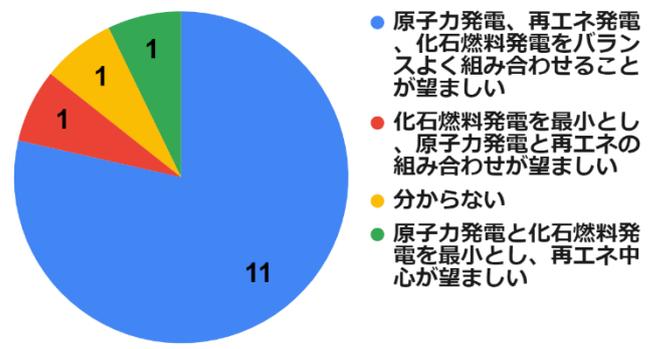
15件の回答



(3)日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性についての見解を伺います。



(4)脱炭素に向けた電源の在り方について伺います。



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

・この度は貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。公演で深く理解できなかった箇所がありましたが、時間が限られているために詳しくお聞きすることができなかったのが悔やまれます。シニアの方々との対話は、現場で働いておられた方からのリアルなお話を伺い、東日本大地震当時の女川原発の状態や日本の電力供給に関する現状などを知ることができました。今後は原子力や再生エネルギーなどの発電方法を上手く組み合わせながら、安定した電力供給をすることが求められると感じました。また、原子力発電を即刻辞めるべきだとは思いませんが、今後原子力に代わり少ないエネルギーで多くの発電ができる方法が開発されれば、原子力から移行するべきだという意見を持ちました。

・原子力について、メディアで取り上げられている内容はデメリットや怖いことなど良いイメージを発信しているところが少なく、自分自身も怖いものだと思い込んでいた。しかし、今回お話を伺うことで原子力のメリットや、どんなところがエネルギーに役立つかなどテレビなどのメディアでは教えてもらえなさそうなことを教えていただきました。女川原発所が被害に遭わなかった理由など自分で調べなければわからないことまで学ぶことができました。また、再生可能エネルギーについても、取り入れるべきという意見が世の中で多数ある中、メリットデメリットを今回理解することで、どうしたら再生可能エネルギーを有効に使うことができるかなど考え直すことにもつながりました。エネルギーについて考えることが今までないに等しかったですが、この授業を受けて、これからの日本のエネルギー生産について興味が湧きました。ニュースなどに目を向けて、自分で考えるようにしたいです。

・今までエネルギーについて深く考える機会がなかったが、私たちがいつも使っているエネルギーに関してもっと関心を抱くべきであると感じた。また、テレビでは東日本大震災における原子力発電所の被害ばかり放送しており、原子力発電所が被害をほぼ受けなかった例に関しては大々的に放送していなかった点について言及していなかったことを知り、自分で情報を取捨選択していく大切さについても考えさせられた。

・今日お話を聞いて、日本のエネルギーの課題や再生可能エネルギー原子力発電について理解を深めることが出来ました。今までテレビなどのメディアの影響で、原子力発電所のネガティブな意見しか聞いてこなかったので、原子力発電が脱炭素や経済成長両立させるために活用出来ると知り、驚きました。もっと周りのエネルギー問題について目を向けて行きたいと思いました。

・大学に入学してからエネルギーについて考える機会はほとんどなく高校生ぶりにエネルギーについて考えるきっかけとなりました。その頃の記憶とはまた異なる新しい情報を学ぶ方ができ、私たちの生活に密接に関わっていることを再認識しました。様々な課題がある中で、私達はどのようにエネルギー問題と向き合う必要があるのか、実際のエネルギー問題を知らうとする姿勢から始めようと考えました。パワーポイントでの説明に加え、シニアの方との対話でもとても分かりやすくエネルギーについて学ぶことができました。この度は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

・原子力発電には興味があるが、自分で調べていても専門用語が多く、理解することが難しかったため、今回直接お話を聞き、知識を深められたと思う。エネルギー問題は地球に住んでいる人間全体で考えなければならない課題であり、このような機会は課題に関心を持つきっかけに繋がると思うため、こういった機会を増やしてほしいと思った。

・本日は貴重な機会を設けていただきありがとうございました。これまで危険でデメリットが多いという漠然としたイメージであった原子力発電についての認識が変わったように思います。1番驚いたのは、ペレット1つで一般家庭の約1年分を賄えるほど、少ない材料で大量に発電する力があるということです。それほど大きなエネルギーを生み出せることを知りませんでした。また、原子力発電についてどこか他人事だったのですが、自分にも関わることとして考えるきっかけになりました。電力値上げの話題が多くメディアで報道されたことは記憶に新しいですが、関西、九州などの地域では値上げされてないことも今回の授業で知りました。やはり原子力発電の力は大きいのだなと思いました。環境に良いイメージのある太陽、風力発電も景観やコスパの面から考えるとそう簡単に増やせるものではないと改めて感じました。夢の電子力と説明された核融合も実現できるとしてもかなり遠い未来の話と伺ったので、まずは原子力発電を利用していき、太陽光や風力の蓄電方法を考えていくのが現実的なのかなと思いました。

・今回の講演では、自分ってこんなに知らないことが多いんだなと思いました。シニアの方との対話では、知識を持っているシニアの方はもちろんのこと、同じ大学で同じ学びをしている学生も自分よりもエネルギーに対する知識をたくさん持っていて、驚きました。日頃からエネルギーに対して考える機会があまりなく、どこか敬遠している部分もありました。しかし、講演後に時間がなくて聞けなかった他のことをエネルギーについて詳しく学んでいる他大学の学生に聞き、理解を深めました。これからもエネルギーについて学びたいと思いました。

・今までは原子力についてマイナスなイメージを持っていました。デメリットだけではなくメリットもある中で、危険などのデメリットの部分だけに目を向けるのではなく、メリットについても知ることが大切だと思いました。対話をする中で初めて知ったこともたくさんありました。私たちの生活の中でも電力は欠かせないものであり、再生可能エネルギーの在り方や原子力について興味・関心を持ち、知識をつけることが大切だと思いました。貴重なお話を聞いてよかったです。ありがとうございました。

・エネルギーについて改めて考える良い機会になりました。特に印象的だったのは原子力発電に対する人々の意見についてのお話です。東北の地に住む私たちは実際に3.11の地震を経験し、原子力発電所の事故に対する関心がありました。そのため、安全性についての話題に触れたり、今回のように教えていただけたりする機会に恵まれていました。しかし、周囲に原子力発電所が無い地域に住む人からしたら、ニュースで見た「危ない発電」というイメージにとらわれているのではないのでしょうか。もしくは、詳しくないよく分からないという人が多いように思います。このような学びの機会を与えられている私たちから、知識不足で再稼働に対し賛成も反対もできないという立場の人々に発信することが求められているのではないかと考えてい

ます。また、エネルギー問題においても、ただ言われるがままに節電をする、エネルギーの節約をする、だけではなく、何故それが必要なのかを理解することが大切なのだと学びました。

・今回お話をさせていただいたことは貴重な経験になりました。ありがとうございました。

・今日の企画を通して、普段なかなか触れない分野のお話を聞くことができとても良かったです。自分の中で生まれた疑問をシニアの方々に聞くことによって解決することができてとても学びになる時間でした。また、シニアの方々だからこそ知っていることや私たちだからこそ知っていることを対話によって照らし合わせ、意見交換することができたことができてとても新鮮でした。互いの時代の良さを練り合わせて良い時代にしていくことができればとても良いと考えました。貴重な機会をありがとうございます。この学びを今後につなげていきます。

・「エネルギー」と聞くと、理科や社会のイメージがあり、少し身構えてしまうところがありました。しかし、これから生活していくためにも必要なことであり、知識を持っておかななくてはならないため、しっかり学ぼうと思いました。知識はあまりなかったのですが、グラフがたくさんあることや、スライドの中にも説明があり、分かりやすかったです。カーボンニュートラル、地球温暖化防止、原子力発電所の問題など、聞いた事があったもの、それをちゃんと説明することが出来ないと感じました。どの課題も自分たちの世代が深く関わっていくものだと思います、正しい知識を持っていることが重要だと思いました。また、それぞれの問題に賛成であれ反対であれ、正しい知識を持っているかどうか大切だと感じました。普段生活をしていてお話をする機会が無い業界の方とお話ができて、貴重な体験となりました。また、エネルギーをベースに様々なことを聞くことができ、参考になりました。貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

・エネルギー自給率が低いこと、電気料金が上がっていること、資源不足、世界情勢の不安定化によって日本はエネルギー不足に陥っていることが分かった。また対話の時間では、カーボンニュートラルについて覚えておいて欲しいと仰っていた。カーボンニュートラルは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするというもので、実現性が高いことを学んだ。カーボンニュートラルに近づくためには、電気使用量の節約や食品のロスなくす、移動は車を控えて、公共交通機関や自転車を使う、ごみの排出量を減らす、緑を育て増やすことが私たちに出来ることだと思った。

・私は福島出身なので、原発を中心に環境問題や反対賛成を考えていた。その周りには化石燃料や地球温暖化があり、それと密接に関わって原子力発電も考えてなくてはならないと学んだ。石炭は安いけど二酸化炭素はどんどん排出する、再生可能エネルギーはコストがかかり安定供給が難しいが環境には優しい、どちらをとってもメリットデメリットがあるので、相互的にものを見る必要があると学んだ。そして、どちらか一方ではなく組み合わせて活用するのが最もよいと知った。私たちのできる行動としては、節電をすることがあると思う。そして、長期的には国や環境のことを考える、なんのためにやらなくてはいけないのか、を意識することが必要だと感じた。基本的なことからわかっていなかったもので、丁寧な説明いただけたおかげで理解を深めることができた。今日教わったことをここで終わらせず今後ずっと頭の片隅に置いておこうと思う。

以上